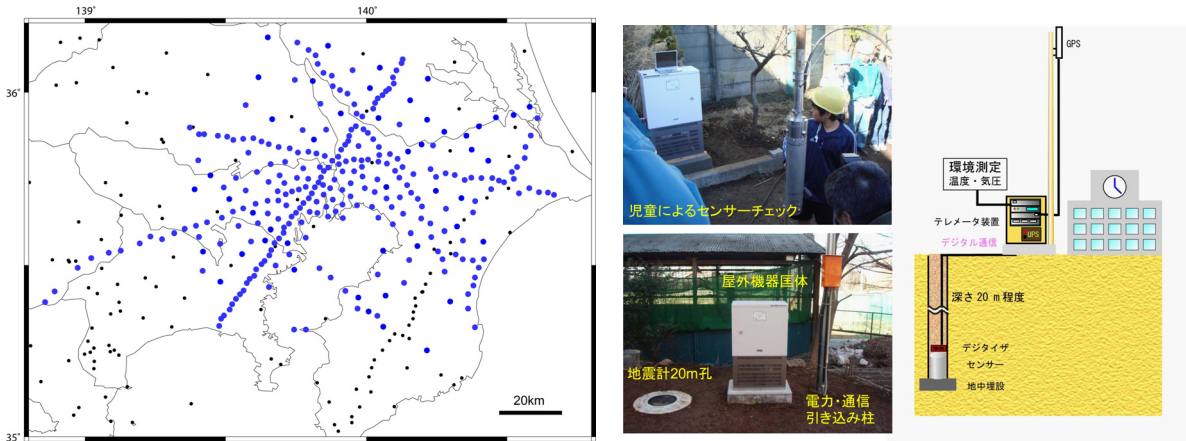
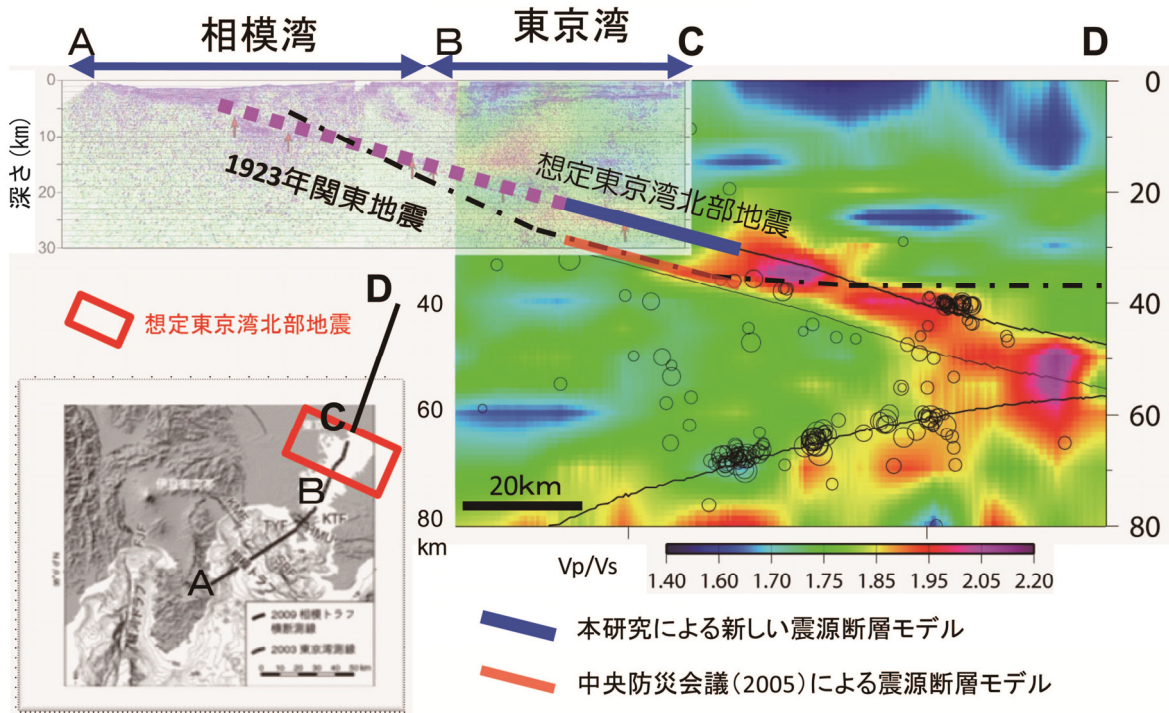


# I 首都圏でのプレート構造調査、震源断層モデル等の構築等



首都圏地震観測網(MeSO-net)の配置図  
 青丸:MeSO-net 地震観測点(296点)、黒丸:既存の定常観測点(地震研、気象庁、防災科研、温泉地学研)

観測点における機器構成(右)と小学校での設置風景(左)



東京湾を北北東から南南西へと横切る深さ断面図

右は、その断面の  $V_p/V_s$  分布、左は反射法地震探査断面図。丸印は 2008 年 4 月から 2011 年 8 月に発生した地震で、この速度構造を求めるときに使用した震源の内この断面図の幅約 10km に含まれるものだけを示した。実線は、フィリピン海プレート上面、フィリピン海プレートの海洋性地殻下面、太平洋プレート上面を示す。一点鎖線は中央防災会議(2005)で仮定していたフィリピン海プレート上面。中央防災会議(2004)が想定したプレート境界型の地震(東京湾北部の地震)の断層(赤線)は、本プロジェクトで得られた境界面上(青線)であるとすると深さ約 20~30 km に位置する。大正関東地震の断層面は桃破線に位置し、その下限より深い地域に想定東京湾北部の地震が位置し、その付近は標準的な  $V_p/V_s$  である。

## Ⅱ 都市施設の耐震性評価・機能確保に関する研究

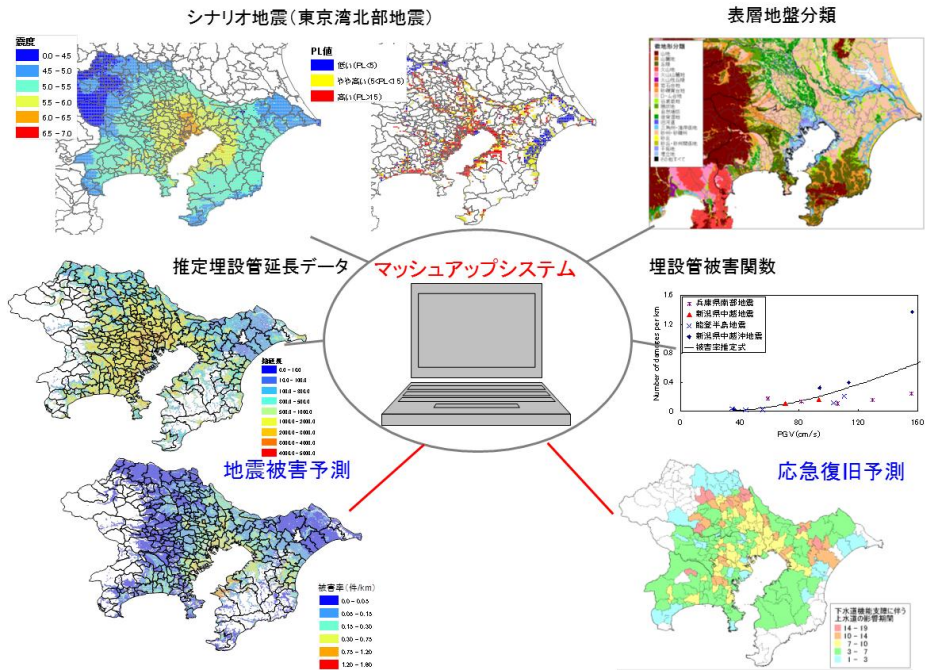


高層建物試験体

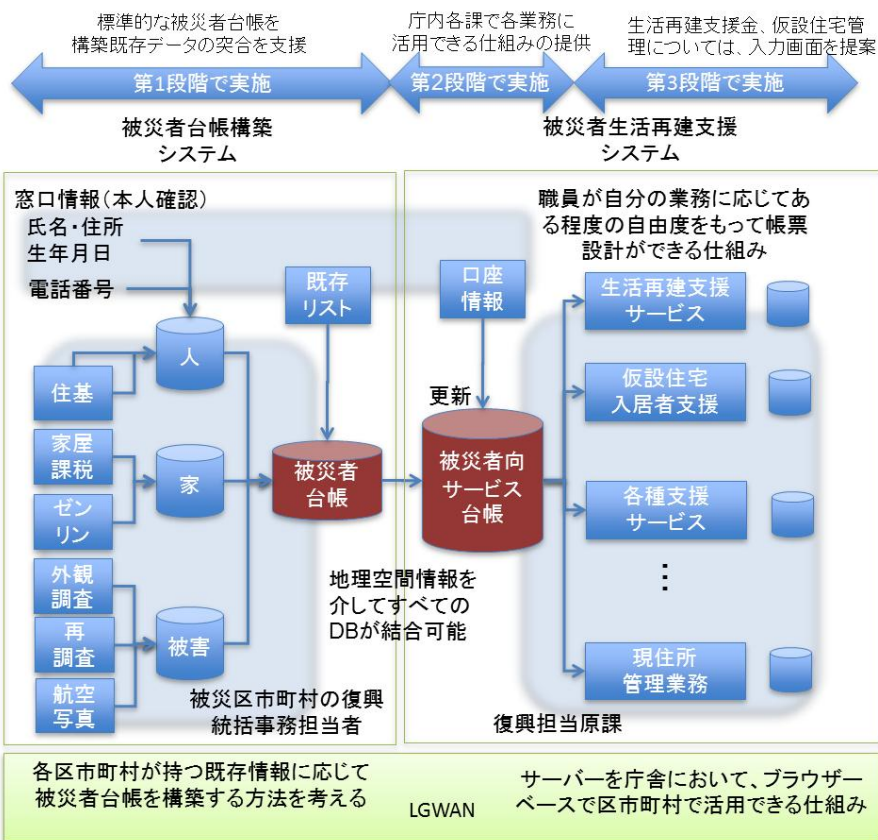


高層建物の上層階(27階)と下層階(6階)をモデル化した試験体

### Ⅲ 広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究



首都直下地震後のライフライン被害・応急復旧予測結果ダウンロードシステム



被災者生活再建支援システム構成図

中間報告会(2010年4月23日(金) 於 東京大学安田講堂)



最終報告会(2012年3月8日(木) 於 東京大学安田講堂)

